# 第６回　水稲病害虫発生予察情報　調査日：９月９日

調査機関：神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA 兵庫六甲
発行：JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

９月９日に水稲病害虫発生予察調査を実施しました。害虫につきましてはトビイロウンカが神戸西地区全域で発生しております。一部地域では坪枯れも発生しており、今後も発生が増えると予想されます。「コシヒカリ」については早期刈り取り、「きぬむすめ」「ヒノヒカリ」「あきだわら」「もち米」等は下記薬剤による防除をして下さい。病害については紋枯れ病の発生が増えておりますので、圃場よく観察し防除をお願いします。

**【警報】兵庫県病害虫発生予察情報：トビイロウンカの緊急防除について警報発令**

| 薬剤名 | 10a 当り使用量 | 使用時期 | 対象害虫 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|
| スタークル粒剤 | ３ｋｇ | 収穫７日前まで | ｳﾝｶ類、ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ | ３回以内 |
| スタークル豆つぶ | 250～500g | 収穫７日前まで | ｳﾝｶ類、ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ | ３回以内 |
| スタークル<br>顆粒水溶剤 | 3000 倍<br>60～150L | 収穫７日前まで | ｳﾝｶ類、ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ | ３回以内 |
| トレボン乳剤 | 1000～2000 倍<br>60～150L | 収穫 14 日前まで | ｳﾝｶ類、ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ、<br>ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ、ｲﾅｺﾞ類 | ３回以内 |
| なげこみトレボン | 水溶性容器 10 個<br>（500ml） | ５葉期以降<br>収穫 21 日前まで | ｳﾝｶ類、ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ、<br>ﾆｶﾒｲﾁｭｳ第一世代 | ３回以内 |

## 紋枯病対策

紋枯病が株元から上位第３葉の葉鞘まで発生した場合は
**バリダシン液剤**（500～1000 倍、60～150ℓ/10a、収穫 14 日前まで）
を散布しましょう！
～次年度に向けて～
紋枯病は菌核で越冬するため、今年の発生圃場では来年も発生する恐れがあります。年内に稲株をすき込み越冬菌を減らしましょう。

## 【9～10 月のカントリー荷受け】

| | |
|---|---|
| コシヒカリ | ９月　５日（土）～　９月27日（日） |
| きぬむすめ | ９月29日（火）～１０月１６日（金） |
| あきだわら | ９月29日（火）～１０月　４日（日） |
| ヒノヒカリ | １０月　６日（火）～１０月１６日（金） |
| 飼料用あきだわら | １０月１７日（土）～１１月　１日（日） |

**荷受け休業日**

９月
14 日（月）、23 日（水）
28 日（月）

10 月
５日（月）、12 日（月）
19 日（月）、26 日（月）

**水稲栽培日誌**の記帳を行い、ＪＡ出荷の場合は、刈取り・出荷の一週間前までに各支店へご提出ください。

# 第５回　水稲病害虫発生予察情報　調査日：８月２６日

調査機関：神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA 兵庫六甲
発行：JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター　　次回調査：９月９日（水）

８月２６日に水稲病害虫発生予察調査を実施しました。トビイロウンカが西区管内全地区で発生が確認され捕獲数も多くなっております。今後も増殖が進み発生が多くなると予想され、発生が多い圃場では坪枯れを起こし品質低下や収量減少となります。トビイロウンカは稲の株元に生息していますので、株元をよく観察してください（写真）。分散して発生している場合が多いので、圃場内数ケ所で 100 株程度は観察しましょう。また、紋枯病やその他のウンカ類の発生も増えておりますので、圃場観察時に同時に観察してください。

## ウンカ類対策

| 薬剤名 | 10ａ当り使用量 | 使用時期 | 対象害虫 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|
| スタークル粒剤 | ３ｋｇ | 収穫７日前まで | ウンカ類、ツマグロヨコバイ | ３回以内 |
| スタークル豆つぶ | 250ｇ～500ｇ | | | |
| スタークル顆粒水溶剤 | ３０００倍<br>６０～１５０ℓ | 収穫７日前まで | ウンカ類、ツマグロヨコバイ | ３回以内 |
| トレボン乳剤 | 1000倍～2000倍<br>６０～１５０ℓ | 収穫１４日前まで | ウンカ類、ツマグロヨコバイ、イネドロオイムシ、イナゴ類 | ３回以内 |
| なげこみトレボン | 水溶性容器<br>10個（500ｍｌ） | ５葉期以降収穫<br>２１日前まで | ウンカ類、ツマグロヨコバイ、ニカメイチュウ第１世代 | ３回以内 |

## 紋枯病対策

紋枯病が株元から上位第３葉の葉鞘まで発生した場合は防除をしてください。

収穫 14 日前まで
**バリダシン液剤**（500～1000 倍、60～150ℓ/10a）
を散布しましょう！

紋枯病発生の様子→

**水稲栽培日誌**の記帳を行い、ＪＡ出荷の場合は、刈取り・出荷の一週間前までに各支店へご提出ください。

# 第４回　水稲病害虫発生予察情報　調査日：8 月 12 日

調査機関：神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA 兵庫六甲
発行：JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター　　次回調査日：８月２６日（水）

西区管内４地区で<u>トビイロウンカ</u>の発生が見られました。トビイロウンカが多発した場合は坪枯れや収量にも影響しますので、昨年発生があった圃場については特に注意してください。ウンカ類、紋枯れ病の発生もあり、カメムシ類についても今後多発すると予想されますので、圃場をよく観察して防除お願いします。また、スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の発生地域が広がっておりますので注意してください。

## 紋枯病の対策について

紋枯病の発生が増加しています。**株元から病斑が上位第３葉鞘に病斑を確認したら予防適期です。**出穂 30～10 日前に、**モンカット粒剤**（3～4kg/10a）を散布しましょう。

紋枯病の発生の様子→

## ウンカ類・カメムシ類対策

- トビイロウンカが発生した場合はすぐに防除しましょう
- 出穂期の草刈りはカメムシ類を水田内に追い込むため避けましょう。
- カメムシを誘引する本田のヒエは徹底的に除草しましょう。
- 農薬散布は適期に行いましょう。

**出穂後 5～10 日頃　スタークル粒剤（3kg／10a）**

**出穂後 7～10 日頃　スタークル豆つぶ（250g／10a）**

## スクミリンゴガイの防除対策

- 殺卵：卵塊を見つけたら潰すもしくは水中にかき落としましょう。
- 捕殺：捕殺して、数を減らしましょう
- 耕うん：稲刈り後、耕うんして貝を破砕しましょう。
- 薬剤防除：発生時に**スクミンベイト3**（2～4kg/10a）を散布

卵塊の様子

## 台風後の対応について

- 冠水・浸水被害を受けた圃場は速やかに水を落としてください。
- いもち病・白葉枯病等の発生に注意して圃場観察を行い適期に防除を行ってください。

☆農薬の使用に当たっては、ラベル等の記載内容を確認し、農薬使用基準等を遵守してください。
☆**水稲栽培日誌**の記帳を行い、ＪＡ出荷の場合は、刈取り・出荷の一週間前までに各支店へ提出をお願いします。

# 第３回　水稲病害虫発生予察情報　令和２年７月２２日

調査機関：神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA 兵庫六甲
発行：JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター　　次回調査日：８月１２日（水）

今回の調査では、雨の影響もありウンカ類の発生はほとんど見られませんでした。病気については一部圃場で紋枯れ病が見られました。平年に比べて梅雨明けが遅れており、今後の天候次第で広がる可能性がありますので、特に紋枯れ病やいもち病に注意してください。梅雨明けからのウンカ類にも注意が必要です。圃場をよく観察して早期防除に努めましょう。

〇大雨対策（事前対策）

排水溝の再確認をしましょう。圃場からでてくる起点である排水口が詰まらないように、周りの草やゴミを取り除いておきましょう。

増水中の河川、水路、ため池には近寄らないようにしましょう。

## 紋枯病対策

株元から上位葉鞘に病斑が上がり始める頃が予防適期です！
出穂 30～10 日前に**モンカット粒剤**（3～4kg/10a）を散布しましょう！
特に昨年度は紋枯れ病の発生が多く、菌が越冬し多発する恐れがあるため注意が必要です。株元をよく観察し、適期の防除を行いましょう！

## カメムシ類・ウンカ類対策

一部の圃場ではヒエ類が多く残っていました。ヒエ類はカメムシ類を誘引するためしっかりと除草しましょう。また、兵庫県病害虫防除所によるとカメムシ類の発生が平年よりやや多くなると予想されています。
出穂後５～１０日頃、

**スタークル粒剤（3kg／10a）**または

**スタークル豆つぶ（250g／10a）**を散布しましょう！

**★出穂１４日前までの畦畔の草刈も忘れずに行ってください。**

## 出穂前後の水管理

①出穂１カ月前には、中干しを終わらせましょう！
②中干し後は、間断潅水を行い、根に酸素を供給しましょう！
③出穂前後（出穂前１週間～出穂後１週間）は稲が水を必要とするので、たん水管理をしましょう！

**早期落水は未熟粒・死米・乳白・胴割れの原因となるため注意！！！**

日中の作業はできるだけ避け、水分補給をしっかり行い熱中症防止に努めましょう！

☆水稲栽培日誌の記帳を行いましょう！

# 第２回　水稲病害虫発生予察情報　　令和２年７月８日

調査機関：神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA 兵庫六甲
発行：JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター　　次回調査日：７月２２日（水）

今回の調査では雨の影響もあり、ウンカ類の発生はほとんど見られませんでした。
病気の発生もほとんど見られませんでしたが、梅雨が続いておりますので、いもち病、紋枯れ病等の病気に注意してください。一部の圃場ではホタルイや藻類が多発していますので、多い圃場については除草剤散布を行いましょう。また、活発な梅雨前線の影響で急に大雨になることがありますので、土砂災害などの警戒をしましょう。

## ○大雨対策（事前対策）

排水溝の再確認をしましょう。圃場からでてくる起点である排水口が詰まらないように、周りの草やゴミを取り除いておきましょう。
**増水中の河川、水路、ため池には近寄らにようにしましょう。**

## 適切な中干しを行いましょう！

田植後の生育状況を確認し、目標茎数（２０本）の約８割が確保された頃に、田の表面に足跡が残る程度の中干しを行いましょう。無効分げつの発生を抑え、根を健全に深くのばします。

### ○高温・多照　の場合

中干しを短縮し、穂肥をやや遅らせ量を増やし、出穂 1 週間以降は水を入れ替えて水温を下げるなどの対策をとりましょう。

### ○高温・日照不足・多雨　の場合

もみ数を減らすため、中干しを強めに行いましょう。
また穂肥をやや遅らせましょう。

## 雑草対策！※詳細は水稲栽培暦を参照

雑草・藻の多発田では、肥料分が吸われてしまったり、稲の生育を抑制しますので対策を！
畔際に多いキシュウスズメノヒエ、イボクサ、クサネムは、あらかじめ手取りで除草した後に除草剤を散布しましょう。

☆ 中干しがまだの圃場･･･【サンパンチ１キロ粒剤】湛水散布。収穫６０日前まで。
☆ ホタルイ多発の圃場･･･【バサグラン液剤】収穫５０日前まで。
　　落水散布又はごく浅く湛水して散布。※高温時薬害注意
☆ 藻類多発の圃場　　･･･【モゲトン粒剤】湛水散布。収穫４５日前まで。

## カメムシ類対策　～早期コシヒカリは草刈りの時期が大切！～

**☆要注意☆**
**今年はカメムシ類が多いのでしっかり対策しましょう！**

**出穂２週間前**までに、**水田周辺のイネ科雑草の草刈り**を完了！
時期が遅れると乳熟期にカメムシ類を田んぼへ追い込んでしまうので注意！！

**出穂後５～１０日頃**　　**スタークル粒剤（3㎏／10ａ）**もしくは
**スタークル豆つぶ（250ｇ／10ａ）**で防除しましょう。

## 出穂前後の水管理が大切です！！

中干し後の水管理は間断潅水で、根の活力を維持しましょう。出穂前後 1 週間は湛水状態を保ち、以降はもみを充実させるため間断潅水を行いましょう。

**☆水稲栽培日誌の記帳を行いましょう！**

# 第１回　水稲病害虫発生予察情報　　令和２年７月２日

調査機関：神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA 兵庫六甲
発行：JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

今年も水稲病害虫発生予察が始まりました！管内の圃場を巡回し、９月上旬まで２週間に１度、６回の情報をお届けする予定です。次回調査日：７月８日（水）

## 6月 24日(水) 病害虫発生状況

今回の巡回では病害の発生は見られず、一部圃場にヒメトビウンカの発生がみられました。発生程度は少ないです。ただし５月から乾燥傾向が続いており、今後近畿地方の気象予報では平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込みで、カメムシ等の害虫の発生が多くなると予想されますので、今後の発生に注意してください。病害については昨年紋枯病が多く発生した圃場を確認してください。また、置苗はいもち病の感染源になりますので、早期に持ち出してください。

一部の圃場ではジャンボタニシ（スクミリンゴカイ）の発生が見られています。発生地域の拡大を防ぐためにも、適切な防除を実施してください。

| 薬剤 | 適用病害虫 | 使用時期 | 10aあたり使用量 | 使用方法 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|
| スクミノン | スクミリンゴガイ | 収穫60日前まで | 1～4kg | 散布 | 2回以内 |

## とりこぼし雑草の防除を行いましょう！

一部圃場において、藻類の発生やホタルイ・キシュウスズメノヒエ・コナギ等の雑草の発生が見られました。手遅れにならないよう、適期に防除を行いましょう！

| 薬剤 | 適用雑草 | 使用時期 | 10aあたり使用量 | 使用方法及び特徴 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|
| サンパンチ1キロ粒剤 | 一年生雑草、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層はく離、ｷｼｭｳｽｽﾞﾒﾉﾋｴ | 移植後15日～ノビエ3．5葉期（収穫60日前まで） | 1kg | 湛水散布 | 1回 |
| バサグラン液剤 | 水田一年生雑草（イネ科を除く）ﾎﾀﾙｲ、ｸｻﾈﾑ、ｵﾓﾀﾞｶ、ｸﾛｸﾞﾜｲ | 移植後15～55日（収穫50日前まで） | 500～700ml（散布液量70～100L） | 落水散布又はごく浅く湛水して散布<br>散布後入水まで3日あける。<br>液剤は高温時薬害注意。<br>※イネ科雑草には効果なし | 2回以内 |
| クリンチャーバスME液剤 | ﾎﾀﾙｲ、一年生雑草、ｵﾓﾀﾞｶ、ｸﾛｸﾞﾜｲ、ｷｼｭｳｽｽﾞﾒﾉﾋｴ | 移植後15日～ノビエ5葉期（収穫50日前まで） | 1，000ml（散布液量70～100L） | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 2回以内 |
| モゲトン粒剤 | ｳｷｸｻ類、藻類（ｱｵﾐﾄﾞﾛ・ｱﾐﾐﾄﾞﾛ） | ｳｷｸｻ類・藻類の発生始～発生盛期（収獲45日前まで） | 2～3kg | 湛水散布 | 3回以内 |

・農薬の使用にあたっては、必ず農薬容器、袋のラベル等の記載内容を確認し、適正な方法で使用してください。

・この内容は令和２年６月２４日現在の登録適用に基づいて記載しています。

## 今後の水管理

田植後の生育状況を確認し、目標茎数の約８割が確保できた頃に、田の表面に足跡が残る程度の中干しを行いましょう。土中へ酸素を供給し、根を健全に保ちます。

また、今後の気温の上昇により、ガスが湧きやすくなります。ひどい圃場については２、３日落水し、ガス抜きをしましょう。

☆**水稲栽培日誌**の記帳を行いましょう！

お問い合わせ先
神戸西営農総合センター
TEL:078-961-1277